

提案

日付：2023/10/26

件名：障がいを知り、共に生きる

1. 問題、課題

先日、寒川町社協でのボランティア学びあい講座において、茅ヶ崎支援学校の先生による「障がいとは」という講演がありました。私の息子も茅ヶ崎支援学校に通う小学部4年生です。

これからボランティアをされる方に、いろいろな障がい（視覚障がい・聴覚障がい・肢体不自由・知的障がい・発達障がい）について、とても分かりやすくまた実際に体験されたエピソードなどもまじえ話してくださいました。これからは「地域共生社会」の時代となっていくと思いますが、地域のなかには、まだまだ障がいについて知らない、わからない方も多くいらっしゃると思います。「共に生きる」「地域共生社会」にむけて、すこしでも多くの方に「障がいとは」を知っていただきたいと思い、町長への手紙を書きました。

2. 改善案

茅ヶ崎支援学校の先生方（共生社会推進チームというものが、学校にはあります）に、町民の皆様・小中学生・小中学校の先生方・寒川町役場の職員の方などを対象にした講演を企画し、皆様に「障がいを知り、共に生きる」について、知り・考える機会を作っていたら、と思っています。茅ヶ崎支援学校に連絡していただけたら、共生社会推進チームの担当の先生とお話もできるかと思っています。

3. 改善後の効果

「障がいを知る」ことで、「地域共生社会」がこの寒川町に広がり進んでいくのではないのでしょうか。ご検討よろしく願いいたします。

回答

<障がいを知り、共に生きる>

【所管：福祉課、学校教育課、人事課】

○「町民の皆様」に向けて

【所管：福祉課】

障がいのある方への理解を深めるとともに、障がいのある方が社会、経済、文化その他のあらゆる分野の活動に積極的に参加することを目的として、「障害者週間」（12月3日

～9日)が定められています。

町でもこの期間を中心に、意識啓発に係る様々な取り組みを展開しています。例えば、昨年度においては、障害者差別解消法や障害者虐待防止法を中心にリーフレットを作成し、広報誌と併せて全戸配布を行いました。

また、例年「障がい者のくらし」と題し、障がいのある方への理解を深めていただくために、寒川総合図書館において、町内の事業所の紹介や自主製品の展示、障がいに関する書籍の紹介などの企画展示を実施しています。今年度も11月8日(水)から11月28日(火)の期間で実施を予定しており、同時に「ともに生きる社会神奈川憲章」のパネル展示も行う予定となっております。(県のパネルの展示は、11月10日(金)～11月17日(金)の期間となります。)

加えて、今年度は、障がいのある方自らが製造した食品や作製した作品などを障がいのある方々が販売を通じて、町民の方々と交流することを目的に年2回開催している「にっこりマーケット」を4年ぶりに再開しております。今年度第2回目が、12月5日から8日まで町民センターで開催することが決定しております。

その他、「ヘルプマーク」や「ヘルプカード」など障がいに関する仕組みとして地域の方に知ってほしいことや、障がい福祉に関する相談、福祉の仕事など毎年テーマを絞って、町広報誌に記事の連載をしております。

今後も、「ともに生きる社会」の実現に向け、障がいを知るきっかけづくりとなるよう、継続した啓発に取り組んでまいります。

○「小中学生・小中学校の先生方」に向けて

【所管：学校教育課】

共生社会の実現に向けて、神奈川県ではインクルーシブ教育を推進しているところであり、寒川町におきましても、県の委託事業を受けて平成28年度から町立小学校がインクルーシブ教育のモデル校として、取組を行ってまいりました。

寒川町教育委員会としましても、障がいの有無に関わらず、子どもたちは、できるだけ共に学ぶ中で、すべての子どもが自然なかかわり合い、相互理解を深めることで、多様性を認め、互いの個性を尊重し、他者との協働する力が育まれるものと考え、その充実を図ることは重要であると考えております。今後も引き続き、各学校において、「総合的な学習の時間」を中心に、これらの福祉に関する学習を継続してまいりたいと考えています。

また、教職員の研修につきましては、神奈川県との連携により教職員の経験年数に応じた研修の機会を活用し、今日的な教育的課題に対する研修として「インクルーシブ教育の推進に関する基礎的な知識を得て、その意識の向上を図る」「障がいに関する特性について理解を深める」等の内容を設定しており、障がいの理解と支援について既に多くの教職員が研修の機会を得ているところです。加えて、町内小中学校においては、校内における職員向け研修会等で、機会を捉えて障がいについて理解を深めているところでございます。

教育委員会としましても、インクルーシブ教育を自分事として捉えることが必要であると考えており、全ての教員がインクルーシブ教育への理解を深められるよう、研修の充実

に努めているところです。今回ご提案いただきました、茅ヶ崎支援学校の教職員における講演会の企画につきましては、今後の教職員研修の計画に沿って進めていくうえで、一つの選択肢として受け止めさせていただければと存じます。

今後も、全ての児童・生徒が互いを認め合える望ましい人間関係を築きながら社会性を養い、積極的に社会に参加し、自立しようとする意欲を育めますよう多様な学びの場の整備に努めてまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

○「寒川町役場の職員」に向けて

【所管：人事課】

地域共生社会に向けて、ともに生きる社会こそノーマルな社会であるという考え方や包容、多様性、社会的、制度的及び心理的な全ての障壁に対処するという考え方等の理念が浸透していくことは、政策だけでなく、行政サービスの向上の観点からも重要であると考えています。

そのため職員に対する障がいに関する理解と合理的配慮を促進していくために、採用時に研修機会を設けるなど取り組みを進めています。

今後も引き続き、地域共生社会に向けて様々な機会をとらえ理解の促進を進めてまいります。